

教科	美術	科目	絵画	単位数	6
学年	3	科	美術造形	専攻・コース	絵画
教科書	美術 I 光村図書		副教材	適宜テキストプリントを配布	
学習到達目標	主として卒業制作（自由制作）を行う。絵画専攻の卒制サブテーマとして「暦・家・森・道・橋・階段」の6つの事項をあげ、各自がそのテーマを解釈し制作に取り組む。3年間に育んだ自分の視点をもって「モノゴト」を見つめ、思考を糧に得た発想力と素材を用いてかたちづくる表現力に重きを置き、個人がもっている魅力を制作へと最大限に展開する。自身の感覚を他者と共有できる表現へと高め、対象と誠実に向き合う姿勢、情熱を見いだす。				
評価の観点	関心・意欲・態度、芸術的な感受や表現の工夫、創造的な表現の技法、鑑賞の能力				

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
前	4	○油彩 I 「花がメインの静物」 ○卒業制作（絵画）	○素描で同時並行して制作している「パピエ・コレ」で実践中の空間構成、マチュールによって形成される絵画空間の構築を油彩にも応用し、互いの作業行程から得られる情報や技法の相乗効果をはかる。 ○各自サブテーマを利用しながらも表現に必要な道程を模索し、自ずと確立してゆくオリジナルな主題を主観的、客観的視点を踏まえて制作に取り組む。	
	5	○油彩 I 「花がメインの静物」 ○卒業制作（絵画）	○モチーフそれぞれの構成要素を理解し、的確な描写力を身につけると同時に、花の印象から受けるインスピレーションを基に作者オリジナルの世界観を構築する。 ○大作に臨む心構えとそれに動じない確かなビジョンとアイデンティティーを築き上げ、絵を描くことの原点でもある、喜びや楽しさ、好奇心を再認識する。	
	6	○油彩 I 「花がメインの静物」 ○卒業制作（絵画）	○自然物（花）を主なモチーフとして花の構造、色彩をはじめ、モノを素直に観ること、感じることを、丁寧に表現することを心がける。 ○練り上げてきたエスキースを基にイメージや構成を精緻化、選別することにより「足りないもの」と「要らないもの」を抽出する。（卒業制作）	
期	7	○油彩 I 「花がメインの静物」 ○卒業制作（絵画）	○発表・講評会を行う。（油彩 I） 発表・講評会により自身の作品を相対的に鑑賞し、客観的判断のもと長所と改善点を発見する。他者の作品から表現力、技術力、熱意、創意工夫など補足出来る箇所を見つける。 ○成り行き通りにならない制作過程での「つまずき」や苦悩を克服してゆく忍耐力を養う。	
	8			
	9	○卒業制作（絵画） ○卒業制作（共同制作）	○制作過程で生じる破綻や意外性、偶然性にも意識を払い、軌道修正と更に追求すべき内容に積極的に向き合う。 ○焼津信用金庫、大住支店のウィンドウを飾る縦309cm×横1,030cmの大作をクラス全員で制作する。 テーマの決定。（4月から個人でアイデアを練る） ・子供から大人まで幅広い年代の方が共通の話題にできること。	

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
後	10	○卒業制作（絵画） ○卒業制作（共同制作）	○卒業制作の発表期日（美術造形デザイン科展）に向けて完成予想図を見越した作業行程と制作プランを具体化し、自身で作品完成の「落としどころ」「見極め」を決定する強い意志と判断力を身につける。 ○テーマの決定。（4月から個人でアイデアを練る） ・焼津、銀行、大きな交差点に面している人が集まる場所で街中を元気に楽しく演出できるもの。 ・現代社会の話題を反映し、社会との接点をもち高校生がみた時代性を表す。	
	11	○卒業制作（絵画） ○卒業制作（共同制作）	○発表、プレゼンテーションを実施することで冷静且つ客観的に作品の長所・短所を分析し、反省点や改善点に着目する。 ○他者の卒業制作を鑑賞し、多角的な観点から作品を味わう。 ○ネタ帳として掲示板を設営し、全員参加のもと着眼したことを書き綴る。 →テーマ決定会議（全員参加） →構図案（全員でエスキース提出） →テーマを2つまでに絞りエスキース2グループでそれぞれの案を提出 →2案から1案に構成 モチーフ決定、資料収集 構図の決定、配色計画	
	12	○卒業制作（共同制作）	○各チーフより進捗状況と課題を報告しながら誰がどこを進めていくのかを具体的にプロデュースし、進行する。 資料班 色彩計画班 下図班 構図係、モチーフイラスト係	
	1	○卒業制作（共同制作）	○完成に向けてのブラッシュアップ。 最後にクラス全員で完成の見極めを行う。	
期	2			
	3			